

2026

3 月号

研究 | IRレポート

Tokai University
Institutional Research
Report

Times Higher Education (THE)
World University Rankingsの分析 (2026度版)



宛先

東海大学URAオフィス
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
担当：山田実俊、荒砂茜
Email: ura-tokai@tokai.ac.jp

Times Higher Education (THE) World University Rankingsの分析(2026年度版)

研究IRレポートとして例年報告する内容として、本レポートではTimes Higher Education (THE) World University Rankingsの2026年度版の紹介をします。THE World University Rankingsの指標から2025年4月号と同様にSciValで閲覧することができるResearch Productivity、International Co-authorship、Citation Impact、Research Strength、Research

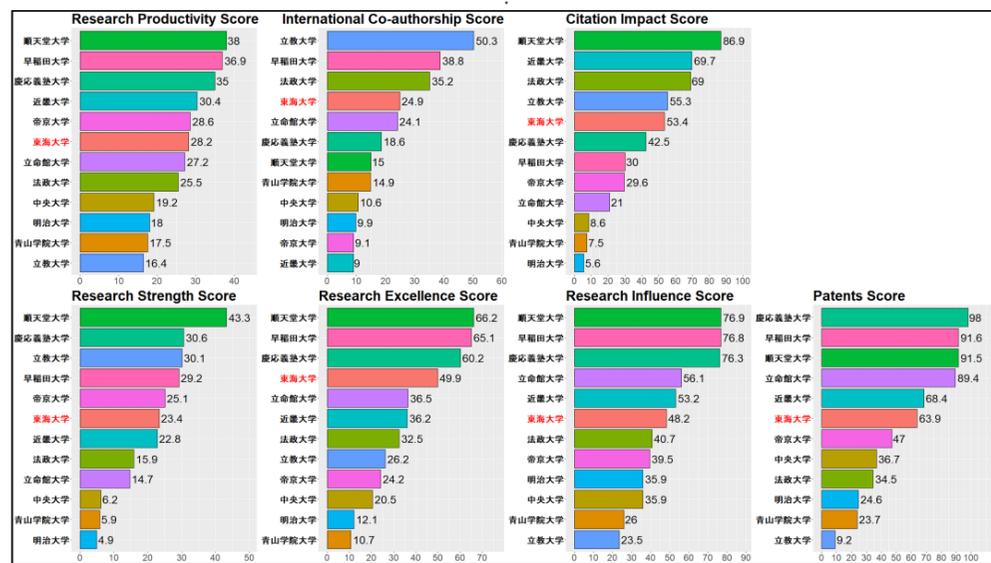
Excellence、Research Influence、Patentsの指標の得点データについて紹介します。本レポートでは今までの比較大学に順天堂大学と立命館大学を追加した12大学の得点データを収集し、指標ごとに比較しました。指標の得点の詳細については「THE_World_University_Rankings_指標の得点の求め方.pdf」を参照してください。

THE World University Rankingsの推移の比較(2021～2026年度)

大学	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
東海大学	1001+	1201+	1201-1500	1201-1500	1201-1500	1201-1500
青山学院大学	1001+	1201+	1501+	1501+	1501+	1501+
中央大学	1001+	1201+	1501+	1501+	1501+	1501+
法政大学	1001+	1201+	1201-1500	1501+	1201-1500	1201-1500
順天堂大学	801-1000	801-1000	801-1000	601-800	601-800	501-600
慶応義塾大学	601-800	601-800	801-1000	601-800	601-800	601-800
近畿大学	801-1000	801-1000	801-1000	1001-1200	1201-1500	1201-1500
明治大学	1001+	1201+	1501+	1501+	1501+	1501+
立教大学	801-1000	1001-1200	1001-1200	1201-1500	1501+	1501+
立命館大学	1001+	1201+	1201-1500	1201-1500	1501+	1501+
帝京大学	501-600	801-1000	1201-1500	1501+	1501+	1501+
早稲田大学	801-1000	801-1000	1001-1200	801-1000	801-1000	801-1000

THE World University Rankingsは順位を範囲で表現されていて、プラス(+)はそれ以上の順位を示します(また、年度によって順位の範囲が異なります)。2025年度から2026年度での変化を確認すると、順天堂大学が601～800位から501～600位にランクアップしていることがわかりました。そのため本レポートでは順

(2026年2月25日現在) 天堂大学を含めた比較を行うこととしました。東海大学の評価としては昨年度から変わらずMARCHに負けないランキングを維持しており、後に述べる項目別の分析結果を踏まえた改善を図ることが順位アップにつながると考えられます。



(2026年2月25日現在)

THE World University Rankingsの指標による比較(2026年度)

12大学で比較すると、全体的には THE World University Rankingsと同様に順天堂大学と慶応義塾大学と早稲田大学がどの指標でも高得点を獲得しており、International Co-authorshipでは立教大学が高得点を獲得していました。東海大学は全体的に4～6位、その中でもInternational Co-authorshipと、TOP10%

補正論文率を考慮するResearch excellenceでは4位であり、全体的な研究力では他の大学に引けを取らないことがわかりました。また多くの指標が昨年度(参照: 2025年4月号)よりも得点が上がっているため、研究力の向上ができていると考えられます。

THE World University Rankingsの項目による比較(2026年度)

Rank	University	Overall	Teaching	Research Environment	Research Quality	Industry	International Outlook
501-600	順天堂大学	43.6-46.1	37.3	17.2	74.5	83.1	26.3
601-800	慶応義塾大学	39.0-43.5	37	28.3	49.1	73.7	41
801-1000	早稲田大学	35.5-38.9	34	26.9	43.5	68	53.3
1201-1500	法政大学	27.3-32.0	16.3	11.3	49.3	35.2	40.2
1201-1500	近畿大学	27.3-32.0	17.6	13.3	53.6	60	33.5
1201-1500	東海大学	27.3-32.0	17.6	12.8	46.9	48.3	31.8
1501+	青山学院大学	10.3-27.2	16.7	9.4	10.8	29.3	36.4
1501+	中央大学	10.3-27.2	18.2	10.8	14.7	37	31
1501+	明治大学	10.3-27.2	16.2	10.2	11.6	31.1	31
1501+	立教大学	10.3-27.2	18.5	9.6	41	21.4	56.4
1501+	立命館大学	10.3-27.2	20.7	16.2	28.4	63.4	46.9
1501+	帝京大学	10.3-27.2	16.2	14	29.6	41.7	27.7

(参照: <https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/latest/world-ranking>)

SciValで閲覧できる指標のうち、Citation Impact、Research Strength、Research Excellence、Research InfluenceはTHE World University RankingsのResearch Quality(研究の質:30%)という項目に分類されています。そこで、項目がランキングにどの程度影響しているかを確認するために、項目で得点化しているデータを用いて12大学を比較しました。1201～1500位の東海大学、法政大学、近畿大学のResearch Quali-

tyが慶応義塾大学と早稲田大学に引けを取らないことがわかりました。一方でTeaching(教育環境:29.5%)とResearch Environment(研究環境:29%)は得点が大きく離れていることがわかりました。研究力の向上は進んでいると考えられるものの、Research Qualityのみを要因としてランキングを上げることは、一定の難しさがあることがうかがえます。

QS World University Rankings(2026年度)

THE World University Rankingsの他に、イギリスの大学評価機関のQuacquarelli Symonds(クアアカレリ・シモンズ:QS)が毎年9月に公表しているQS World University Rankingsというランキングもあります。研究指標に加え、学術的評価、雇用者からの評判、学生数に対する教員比率、研究影響度などの指標が総合的に評価され、大学の総合力としてランキングが算出されています。12大学(ランキングに含まれていない大学もあ

る)の中で、東海大学と明治大学が1201～1400位、上位は早稲田大学(196位)、慶応義塾大学(215位)、立命館大学(680位)でした。立命館大学が上位になっている理由としてInternational Research Network(国際研究ネットワーク)とSustainability(持続可能性)の得点が高く評価されていました。QS World University Rankingsの向上を図るためには、研究以外の指標に関する評価の向上にも取り組んでいく必要があることが示唆されました。